

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 原田工業株式会社

コード番号 6904 URL <http://www.harada.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原田 章二

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員

(氏名) 佐々木 徹

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	29,092	10.0	755	△27.8	976	△22.9	461	△44.0
26年3月期第3四半期	26,444	17.0	1,046	759.3	1,267	653.2	823	15.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 293百万円 (△82.1%) 26年3月期第3四半期 1,645百万円 (214.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	21.20	—
26年3月期第3四半期	37.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	31,842	12,357	38.8	568.10
26年3月期	32,411	12,281	37.9	564.59

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 12,357百万円 26年3月期 12,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	6.9	1,050	△21.5	850	△39.8	550	△56.2	25.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	21,758,000 株	26年3月期	21,758,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	5,984 株	26年3月期	5,434 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	21,752,533 株	26年3月期3Q	21,753,865 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境の改善を背景とした底堅い個人消費や、生産の増加等により緩やかな拡大が継続した一方、欧州では持ち直しの動きがみられるものの、依然停滞しております。アジアにおいては、中国では個人消費が堅調に推移しているものの、経済の成長ペースが減速の傾向を強めていること等を背景に回復のペースは緩やかになっており、アセアン地域では政情不安を背景としたタイの景気低迷等を中心に総じて足踏み状態となっております。

日本国内経済につきましては、個人消費に弱さが見られるものの、底堅い動きとなっており、緩やかな回復基調が続いております。

先行きにつきましては、世界経済は一部に弱さが見られるものの、総じて緩やかな回復が見込まれます。日本国内経済は、消費増税後の落ち込みからの持ち直しや所得環境の改善を背景とした個人消費の底堅さ等により、景気の緩やかな回復が期待されます。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数がアセアン地域、日本では減産となったものの、北米、中国、欧州では増加となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ、増加いたしました。

このような状況のもと、長期ビジョンである「HARADA NEXSTAGE 19」達成のための二つの柱である「競争の優位性の強化」と「最適な企業基盤の確立」を目指し、各領域における施策を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、世界の自動車市場が着実に拡大していることを背景とした拡販活動や為替の影響等により290億92百万円（前年同期比10.0%増）となりました。利益面につきましては、売上の増加により売上総利益は増加したものの、売上原価率及び販管費率の上昇により営業利益は7億55百万円（同27.8%減）、経常利益は為替差益等を計上したこともあり9億76百万円（同22.9%減）、四半期純利益は4億61百万円（同44.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

輸出の減少、自動車生産台数の減少により、外部売上高は88億85百万円（同0.7%減）、セグメント間の内部売上高は31億10百万円（同9.8%増）、営業利益は原価率及び販管費率の上昇により4億80百万円（同50.5%減）となりました。

②アジア

中国市場における自動車生産台数の拡大を背景とした拡販活動及び為替の影響等により、外部売上高は76億97百万円（同21.8%増）、セグメント間の内部売上高は103億82百万円（同7.9%増）、営業利益は原価率の改善等により1億35百万円（同43.7%増）となりました。

③北中米

米国及びメキシコの市場回復傾向及び為替の影響等により、外部売上高は96億83百万円（同8.8%増）、セグメント間の内部売上高は68百万円（同24.0%減）、営業利益は2億1百万円（同7.6%減）となりました。

④欧州

欧州市場での拡販活動及び為替の影響等により、外部売上高は28億26百万円（同24.2%増）、セグメント間の内部売上高は32百万円（同111.5%増）、営業損失は原価率の上昇等により1億29百万円（前年同期は営業損失71百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、248億75百万円（前連結会計年度末252億87百万円）となり、4億12百万円減少いたしました。

主に、「受取手形及び売掛金」が2億4百万円、「原材料及び貯蔵品」が1億33百万円、「仕掛品」が1億28百万円増加し、「現金及び預金」が8億93百万円減少いたしました。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、69億66百万円（前連結会計年度末71億24百万円）となり、1億57百万円減少いたしました。

主に、「有形固定資産」が1億36百万円増加し、「投資その他の資産」が2億60百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、152億79百万円（前連結会計年度末177億76百万円）となり、24億97百万円減少いたしました。

主に、「1年内返済予定の長期借入金」が18億35百万円、「その他」に含まれる「未払金」が6億10百万円、「未払法人税等」が4億95百万円減少いたしました。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、42億5百万円（前連結会計年度末23億54百万円）となり、18億51百万円増加いたしました。

主に、「長期借入金」が19億55百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、123億57百万円（前連結会計年度末122億81百万円）となり、76百万円増加いたしました。

主に、「為替換算調整勘定」が1億81百万円減少し、「利益剰余金」が2億43百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期連結業績予想につきましては、平成26年11月12日に公表した業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,407,711	5,514,701
受取手形及び売掛金	7,309,390	7,513,670
商品及び製品	5,207,444	5,227,899
仕掛品	510,673	639,029
原材料及び貯蔵品	3,702,168	3,835,713
その他	2,165,437	2,162,124
貸倒引当金	△15,209	△17,852
流動資産合計	25,287,616	24,875,285
固定資産		
有形固定資産	4,574,825	4,711,183
無形固定資産	393,733	360,549
投資その他の資産		
その他	2,158,062	1,897,552
貸倒引当金	△2,405	△2,405
投資その他の資産合計	2,155,657	1,895,147
固定資産合計	7,124,216	6,966,879
資産合計	32,411,832	31,842,165
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,777,234	3,484,464
短期借入金	8,460,866	9,380,226
1年内返済予定の長期借入金	2,560,000	725,000
賞与引当金	313,910	216,028
役員賞与引当金	49,800	25,125
その他	2,614,363	1,448,254
流動負債合計	17,776,174	15,279,097
固定負債		
長期借入金	1,680,000	3,635,000
退職給付に係る負債	266,274	111,378
その他	408,149	459,433
固定負債合計	2,354,424	4,205,811
負債合計	20,130,598	19,484,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	8,593,001	8,836,674
自己株式	△1,818	△2,007
株主資本合計	12,470,345	12,713,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,862	34,158
為替換算調整勘定	△145,911	△327,731
退職給付に係る調整累計額	△61,063	△63,001
その他の包括利益累計額合計	△189,111	△356,574
純資産合計	12,281,233	12,357,255
負債純資産合計	32,411,832	31,842,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	26,444,169	29,092,130
売上原価	19,998,527	22,385,758
売上総利益	6,445,642	6,706,372
販売費及び一般管理費	5,399,353	5,951,173
営業利益	1,046,289	755,199
営業外収益		
為替差益	259,425	239,987
その他	74,098	119,523
営業外収益合計	333,524	359,510
営業外費用		
支払利息	94,739	117,425
その他	17,947	20,489
営業外費用合計	112,687	137,915
経常利益	1,267,126	976,794
特別利益		
固定資産売却益	4,691	5,290
その他	—	44
特別利益合計	4,691	5,334
特別損失		
固定資産売却損	332	4,428
減損損失	5,126	7,958
固定資産除却損	5,581	7,127
その他	9	—
特別損失合計	11,049	19,514
税金等調整前四半期純利益	1,260,767	962,614
法人税、住民税及び事業税	511,987	138,905
法人税等調整額	△75,061	362,509
法人税等合計	436,926	501,414
少数株主損益調整前四半期純利益	823,840	461,199
少数株主利益	—	—
四半期純利益	823,840	461,199

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	823,840	461,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,029	16,295
為替換算調整勘定	808,575	△181,820
退職給付に係る調整額	—	△1,938
その他の包括利益合計	821,604	△167,463
四半期包括利益	1,645,445	293,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,645,445	293,736
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	8,951,030	6,320,777	8,896,731	2,275,630	26,444,169	—	26,444,169
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,831,719	9,618,329	90,292	15,425	12,555,766	△12,555,766	—
計	11,782,749	15,939,106	8,987,024	2,291,056	38,999,936	△12,555,766	26,444,169
セグメント利益又は損失(△)	968,967	94,063	217,722	△71,364	1,209,389	△163,100	1,046,289

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△163,100千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「アジア」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が3,922千円、「アジア」が1,204千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	8,885,395	7,697,275	9,683,287	2,826,172	29,092,130	—	29,092,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,110,077	10,382,661	68,639	32,622	13,594,000	△13,594,000	—
計	11,995,472	18,079,936	9,751,927	2,858,794	42,686,131	△13,594,000	29,092,130
セグメント利益又は損失(△)	480,043	135,159	201,140	△129,710	686,632	68,566	755,199

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額68,566千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「アジア」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が5,763千円、「アジア」が2,195千円であります。